

2023 年度「認知症ライフパートナー検定試験」のご案内

拝啓 弥生の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度は、当協議会で実施しております検定試験について、広く皆様にご案内したく、「認知症ライフパートナー検定」の受験に関する資料、およびその他参考となる資料をいくつか送らせていただきました。

過去 28 回の試験では、作業療法士や理学療法士などのリハビリ専門職の皆さまや、福祉専門職の皆さまに多くご受験いただいております。現場で役に立ったとお声も伺っております。ぜひ、貴士会の方々にご紹介いただければ幸いです。

2023 年度は、札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、岡山、福岡、熊本の 8 会場で、検定試験を実施いたします。

試験会場での一般受験もちろんご利用いただけますが、受験料が割引になる団体受験の制度もございますので、併せてご検討いただければ幸いです。

なお、検定に関する最新情報や詳細なご案内は、当協議会ホームページ (<https://www.jadecc.jp>) をご覧ください。

敬具

ご不明点などがございましたら、下記検定事務局までお問合わせくださいますようお願い致します。
また、各種資料を追加にてご入り用の際も下記宛てご連絡ください。

●夏期検定申込み
6 月 12 日(月)まで

●冬期検定申込み
11 月 6 日(月)まで

一般社団法人 日本認知症コミュニケーション協議会
検定事務局

〒151-0053 東京都渋谷区幡ヶ谷 2-25-3 2 階

TEL : 03-5388-4134 FAX : 03-3370-8061

<https://www.jadecc.jp>

E-mail : support@jadecc.jp

～認知症とアクティビティによる「ことば」を超えたコミュニケーションを～

認知症ライフパートナー検定試験[®] 関連書籍のご案内

近年、急速な高齢化にともない、認知症の問題が大きくクローズアップされるようになってきました。

本書は、認知症の基礎知識や、アクティビティの技術や効果、コミュニケーション方法などを学ぶことができる、

「認知症ライフパートナー検定試験」を受験される方々にとって、必携のテキストです。

介護・福祉など実際のケアに携わっている専門職の方だけでなく、一般企業にお勤めの方や、学生・主婦など、幅広い層の方々にも分かりやすい内容になっています。



【2023年最新版紹介】 当協議会・全国の主要書店で取り扱っています。 詳しくは当協議会 検定事務局へお問い合わせ下さい。



改訂2版 認知症ライフパートナー検定試験3級 公式テキスト

編著：一般社団法人 日本認知症コミュニケーション協議会

発行：日本能率協会マネジメントセンター

制作協力：エルシーイーラ合同会社

価格：2,800円（税込：3,080円）

発行日：2021年6月発売

一般の方をはじめ、認知症の人の家族の方、学生、専門職を目指す方々には必携。

言葉による、コミュニケーションをとることが難しい認知症の人に対して行う、言葉や園芸、運動や料理などのアクティビティを活用したコミュニケーション方法を、認知症の基礎知識とともに解説しています。ご家族の方にも分かりやすい、介護に役立つ情報満載のテキストです。



改訂2版 認知症ライフパートナー検定試験2級 公式テキスト

編著：一般社団法人 日本認知症コミュニケーション協議会

発行：日本能率協会マネジメントセンター

制作協力：エルシーイーラ合同会社

価格：4,500円（税込：4,950円）

発行日：2021年6月発売

より深い認知症の専門知識や、アクティビティ・プログラムの効果や方法を知るために必携。

認知症についてのより深い知識をはじめ、13種類の幅広いアクティビティの知識や技術、さらには認知症の人の居住環境などについて学ぶことができます。より実践的なかわり方を学習することができます。



改訂版 認知症ライフパートナー検定試験 1級 公式テキスト

編著：一般社団法人 日本認知症コミュニケーション協議会

発行：日本能率協会マネジメントセンター

制作協力：エルシーイーラ合同会社

価格：5,600円（税込：6,160円）

発行日：2021年7月発売

より深い認知症の専門知識や、アクティビティ・ケアの実施・評価なども行うための専門書

認知症の人を理解したうえでのアクティビティ・ケアや、認知症の早期発見、家族支援などを実行していくための、認知症関連実用書の最新版です。認知症の人への支援方法や制度の活用など、認知症ケア実践に活かすために必要な知識を修得できます。

※プリントオンデマンド方式で、三省堂書店(店頭または電話注文) または Amazon のみで購入できます



認知症ライフパートナー検定試験3級 公式過去問題集

監修：一般社団法人 日本認知症コミュニケーション協議会

発行：日本能率協会マネジメントセンター

制作協力：エルシーイーラ合同会社

価格：2,200円（税込：2,420円）

発行日：2021年6月発売

認知症ライフパートナー検定試験を受験される方には必携の1冊
「公式テキスト」に完全準拠した3級対策の問題集。2009年より始まった、3級検定試験の傾向と対策とともに、第21回～第24回の過去問題・解説、また模擬問題（一問一答）を250問収載しています。



認知症ライフパートナー検定試験2級 公式過去問題集

監修：一般社団法人 日本認知症コミュニケーション協議会

発行：日本能率協会マネジメントセンター

制作協力：エルシーイーラ合同会社

価格：2,600円（税込：2,860円）

発行日：2021年6月発売

認知症ライフパートナー検定試験を受験される方には必携の1冊
「公式テキスト」に完全準拠した2級対策の問題集。2010年より始まった2級検定試験の傾向と対策とともに、第19回～第22回の過去問題・解説、また模擬問題（○×チェック問題）を120問収載しています。



認知症ライフパートナー検定試験 1級 公式過去問題集（第1～5回）

監修：一般社団法人 日本認知症コミュニケーション協議会

発行：エルシーイーラ合同会社

判型：A5判

価格：各1,600円（税込）

「公式テキスト」に完全準拠した1級対策の問題集。
2016年より始まった1級検定試験の前半試験（マークシート式）の問題・解説、および後半試験（記述式）の問題・解答例（詳細な解説はWEB上からダウンロード可）を収載。記述式の実際の問題や解答例を把握したい方にお勧め。
検定試験1回分で1冊になります。
2016～2020年の第1回～第5回(計5冊)を販売中。

※当協議会HPからの申込み、または裏面購入申込書送付のみで購入できます



一般社団法人
日本認知症コミュニケーション協議会 事務局
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-25-3 アーバン幡ヶ谷2F

TEL.03-5388-4134
FAX.03-3370-8061 <https://www.jadec.jp>

認知症ライフパートナー 検定試験

試験会場：札幌・仙台・東京・名古屋
大阪・岡山・福岡・熊本

認知症ライフパートナーとは、
認知症の人のこれまでの人生や生き方、
価値観を尊重し、その人らしく日常生活が送れるように、
認知症の基礎知識とコミュニケーション能力をもち、
本人や家族に寄り添って、
サポートできる人のことです。



2023年度
夏期試験日

3級 2級

7/16(日)

受付締切 6/12(月)

2023年度
冬期試験日

3級 2級 1級

12/10(日)

受付締切 11/16(月)

受験料：3級 6,500円 / 2級 10,500円 / 1級 15,000円

受験資格：[2・3級] 学歴・年齢・性別・国籍による制限はありません。[1級] 認知症ライフパートナー 2級合格者

○1級は冬期のみ、札幌・東京・名古屋・大阪・福岡会場で実施。

○公式テキスト等の関連書籍は、当協議会ホームページや、大手書店などで購入できます。

認知症 検定

検索



一般社団法人

日本認知症コミュニケーション協議会 検定事務局

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 2-25-3 2F

TEL.03-5388-4134

FAX.03-3370-8061 <https://www.jadecc.jp>

認知症の人とアクティビティによる
言葉を超えたコミュニケーションを

検定実施概要	
試 験 日	年2回 実施予定 【夏期】7月 【冬期】12月
試 験 時 間	【1 級】前半 10:00 ～（制限時間 2 時間） 後半 14:00 ～（制限時間 2 時間） 【2 級】14：00 ～（制限時間 2 時間） 【3 級】10：00 ～（制限時間 2 時間）
試 験 会 場	【1 級】札幌・東京・名古屋・大阪・福岡（冬期のみ実施） 【2・3 級】札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・岡山・福岡・熊本 （受験会場の詳細は受験票にてお知らせします）
受 験 料	【1級】15,000 円（税込）／【2級】10,500 円（税込）／【3級】6,500 円（税込）
受 験 資 格	【1 級】 認知症ライフパートナー検定試験 2 級合格者 【2・3 級】 学歴・年齢・性別・国籍による制限はありません。
出 題 基 準	【1 級】「認知症ライフパートナー検定試験 1 級公式テキスト改訂版」に準拠するが、テキスト外からも出題。 【2・3 級】「認知症ライフパートナー検定試験 2・3 級公式テキスト 改訂 2 版」に準拠。
試 験 方 式	【1 級】 前半：マークシート式試験 ／ 後半：記述式試験 【2・3 級】 マークシート式試験
合 格 基 準	【1 級】 前半・後半で各100点満点とし、前半・後半共に70 点以上をもって合格とします。 【2・3 級】 100 点満点とし、70 点以上をもって合格とします。

認知症に関わる
全ての人へ

(社) 日本認知症コミュニケーション協議会からのお知らせ

これからの社会で必要とされる 「認知症」の理解と「コミュニケーション」のスキル

これからの社会や地域で生活する中で、とても大切になってくることがあります。
それは、「認知症」という病気について正しい知識を持つこと。そして、「高齢者の人とのコミュニケーション力」です。
あらゆる場所、職業、状況で、認知症の人との関わり合いをもつ機会が増える中で、
認知症の人、周囲の人、安心して生活を送ることが出来る環境作りが急務となっています。
必ず役立つ知識と技術を、「認知症ライフパートナー」の勉強を通じて身につけることができます。

今の社会における 「認知症」の現状について

厚生労働省の発表によると、認知症の人は約 462 万人、軽度認知障害（MCI）の高齢者も約 400 万人いると推計されており、実に65 歳以上の4 人に1人が認知症だといわれています。
今後ますます介護や医療の現場において、認知症の人と関わる機会は多くなることでしょう。
そのような場面において、自分の言葉で感情などを伝えることが難しい認知症の人とどのように関わるかが、最大の課題となっています。こうしたことから介護現場などで即戦力として求められる人材は、認知症の知識やコミュニケーション力を持つ人であり、その人材育成は急務といわれています。

コミュニケーションを 認知症ケアに生かす

認知症の人とのコミュニケーションで有効な方法として傾聴や回想法があります。
介護をする人は、認知症の人にとって「良い聞き手」になることが大切です。その人が歩んできた歴史、経験などをじっくり聞いてあげて、お互いが共感し合えて初めて、強い信頼関係を築くことができます。
聞き手が関心を向けて話を聞くことで、認知症の人には「自分の気持ちを分かってくれる人」という感情が生まれ、認知症の人も心を開きやすくなり、より良い人間関係が成り立つ可能性を高めます。こうしたコミュニケーション手法を活用し、ケアに携わるのが「認知症ライフパートナー」です。

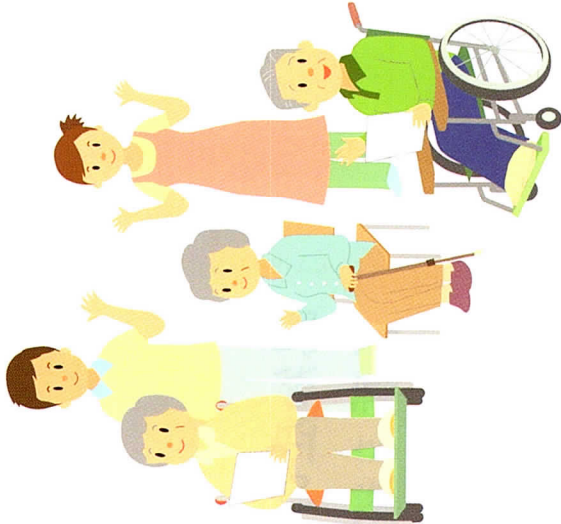


「認知症」の正しい理解が 介護や福祉を大きく変える

認知症の人の行動が分からない、どう接したら良いか分からない、という声を聞くことも少なくありません。
認知症の人の行動には、様々な理由があります。それは私たちが普段生活する行動や考えること、感じることに置き換え、認知症の人の立場に立って考えたとき、認知症の人の心理状態や、行動の理由を理解することが出来ます。
認知症の人の心理状態を知ること、「どう接すれば良いか」を考え対応することが出来ます。また適切に関わる事で、認知症の症状を緩和することができ、精神的にも安定した穏やかな生活を送ることが出来ます。
認知症の人が穏やかな生活を送れるようになると、介護をする人の精神的負担も減らすことができ、お互いにより良い生活を送ることが出来ます。

「認知症ライフパートナー」は何を学ぶ？

「認知症」という病気についてのさまざまな知識をはじめ、回想法・音楽・園芸・運動・化粧・動物など各種アクティビティ・ケアの手法や効果、留意点などを学びます。
さまざまなアクティビティ・ケアの手法を身につける事で、対象となる人に合ったアクティビティ・ケアを選択することができます。
「認知症ライフパートナー」は、適切なケアをすることで認知症の人やご家族にとってより良い生活環境を提案する役割を担っています。そして、介護をする側もされる側も生き生きとした毎日を過ごせるように、認知症の人とご家族に寄り添い、生活を支える“パートナー”として期待されています。
また、アクティビティ・プログラムの立案、実践、評価、改善（フィードバック）といった一連の流れを学ぶ実務研修「認知症アクティビティ・ケア専門士」も実施しています。



アクティビティ・ケアの効果

認知症の人に対するアクティビティ・ケアの役割には、「予防としての役割」「機能訓練としての役割」「生活の質（QOL）の維持や向上としての役割」があります。
言葉で自分の意思や感情を伝えることが難しくなる認知症の場合、表情や行動でその意思を表わす場合があります。そして、表情や行動で表現されるその人の意思を受け止める方法として、回想法をはじめとするとさまざまなアクティビティを活用するということが注目されています。アクティビティを通じたコミュニケーションによって、認知症の人は安心した生活を送ることができ、その結果、脳の活性化や心身の機能の維持に繋げることができるといわれています。



団体受験実施校の声

新潟医療福祉カレッジ 介護福祉科 専任教員

本校は介護福祉士養成校として、「認知症の理解」という科目があります。認知症の基本的な知識を学んでいますが、学生が実習に行き、まず戸惑うのが、認知症の人との接し方です。「同じことを何度も言う」「急に怒られた」など、その方一人ひとりの個性があり、対応に苦慮しています。そのようなことから、認知症の勉強は難しいと敬遠される傾向にありました。そこで、学生に少しでも分りやすい、そしてなるほどと興味を持ってもらいたいと思い「認知症ライフパートナー検定試験」を活用できないかと考え受験しました。

本校では、介護福祉科の1 年生の4 月から「認知症の理解」という科目が始まります。その授業で「認知症ライフパートナー」のテキストと、他の教科書を使用し授業を行います。そして、9 月後半から実質的に受験対策授業を行います。過去問題を繰り返し解きながら、解説していく方法です。11 月中旬から約3 週間は介護実習に出てしまうため、実習が終わるとすぐに受験となってしまうのですが、頑張って合格を勝ちとる学生も増えてきました。

昨今、認知症の方は増加しており、個々に対応できる介護福祉士が必要不可欠になっています。校定のための勉強とはいえ、認知症の種類、症状、対応方法など幅広く学ぶことができているようです。実際に学生から「認知症の症状や対応方法がより理解できた」「認知症をこれからは勉強したい」という声が聞かれています。

合格者の声

40 代／介護職



所属している高齢者施設内で従業員の研修を担当することとなり、この資格を取得しようと思いました。合格後は、認知症について正しい理解をして買えるような啓発活動にも生かしたいと考えていたところ、近隣の社会福祉協議会主催の介護者の会で、「認知症」に関する研修会の講師を依頼され、着実に目標が達成できていると感じています。

20 代／医療・看護職



高齢者施設で作業療法士として働く中で、現在、関わっている認知症の方やご家族への支援がしたいと思うようになり受験をしました。また、一般の方にも受けられる試験のため、認知症の方のご家族に紹介する機会があればいいと思います。

「認知症ライフパートナー検定試験」や認知症関連のイベント・研修・セミナーに関するお問合せは、裏面の事務局までご連絡下さい。



認知症ライフパートナー検定試験 3つのメリット

認知症ライフパートナー検定試験の導入による
取得メリットをご提案いたします。



1 現場で役立つコミュニケーション手法が身につく

介護やリハビリの資格を持ち、現場で活躍されている専門職の方でも、認知症の患者さんとの接し方に苦労される話をよく耳にします。この検定の学習を通じて、うまくコミュニケーションをとる手法を学ぶことができます。

当協議会へ寄せられた声

同じような認知症の検定がいくつかあるが、作業療法士の先生の監修した事例が多く載っているの、頭に入ってきた。

40代 男性 作業療法士



認知症の人と接する時に、どうしたらよいか分からず戸惑うことがあったが、テキストの内容を参考にして、自信をもって対応できるようになった。

20代 女性 理学療法士



公式テキストの内容を参考にして、実際に自分の施設でも、音楽と園芸のアクティビティ・プログラムを実施してみました。利用者さんにとっても好評でした。

30代 女性 介護福祉士



3 実践的なアクティビティを学び、活かすことができる

認知症ライフパートナー検定の一番の特徴は、「アクティビティ・ケア」を学べることにあります。公式テキストには、料理、園芸、音楽、手工芸など、さまざまな種類のアクティビティの実践例が掲載されています。実際に施設等でどう実施したらよいか、そのヒントを学び、活かすことができます。

「認知症ライフパートナー検定試験」についてご興味のある方には、更に詳しい資料をご送付いたします。
同封の資料請求書をご郵送・FAXいただくか、当協議会ホームページよりお申込みください。
お電話でも受け付けております。お気軽にお問合せください。



一般社団法人
日本認知症コミュニケーション協議会 検定事務局

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-25-3 アーバン幡ヶ谷2F

TEL.03-5388-4134
FAX.03-3370-8061 <https://www.jadecc.jp>